

令和2年度 学校図書館基本計画

足立区立花保小学校 校長 半田 英雄

1 学校教育目標

- 心豊かで思いやりのある子ども
- 自ら進んで考え、工夫する子ども
- 健康でねばり強い子ども
- たがいに協力し、進んで実行する子ども

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- 様々な活動や学習を通して、読書に興味をもち、日常的に読書に親しむ態度を養う。
- 幅広く読書に親しみ、様々な知識や情報を得たり自分の考えを広げたりすることができる力を育てる。
- 探究的な学習の目的に応じて、必要な情報を幅広く収集し、選択し、課題を解決する能力を育てる。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数	10,898冊（蔵書基準冊数 10,878冊）					蔵書率	100%		
	② 新規購入図書	302冊		／	廃棄図書	502冊		／	増減冊数	300冊
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	5%	6%	10%	5%	3%	7%	4%	57%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間	8時30分								
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数	25冊		（前々年度：30冊）						
	③ 1か月に2冊以上読む児童	23%								

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	○易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ○学校図書館の利用方法や、知りたいこと、読んでみたい内容から本を選び、読むことができるようにする。	○各クラス月2回以上、読書などの授業を学校図書館で行う。 ○読書カードを活用し、読書月目標10冊を児童の90%以上達成 ○支援員と連携し、学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
今年度の成果目標	○学校図書館を使う授業を行い、本を手にする機会を増やす。 ○学校図書館の本を活用し、読書をする経験を積み重ねる。 ○学校図書館オリエンテーションを通して、本などの種類や配置、探し方について理解する。また、必要な本などを選ぶことができる。	
第2学年	○いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ○学校図書館の利用方法や、知りたいこと、読んでみたい内容から本を選び、読むことができるようにする。	○各クラス月2回以上、読書や調べる学習などの授業を学校図書館で行う。 ○読書カードを活用し、読書月目標10冊を児童の90%以上達成 ○支援員と連携し、学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
今年度の成果目標	○自分の興味のある本を選んで、読書することができる。 ○図鑑や科学的な読み物などを読み、わかったことなどを説明することができる。 ○学校図書館オリエンテーションを通して、本などの種類や配置、探し方について理解する。また、必要な本などを選ぶことができる。	
第3学年	○いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ○進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できるようにする。	○各クラス月2回以上、読書や調べる学習などの授業を学校図書館で行う。 ○読書カードを活用し、読書月目標200ページを児童の70%以上達成 ○支援員と連携し、学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
今年度の成果目標	○自分の興味のある本だけでなく、様々な種類の本についても読書することができる。 ○事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ○学校図書館オリエンテーションを通して、本などの種類や配置、探し方について理解する。また、必要な本などを選んで読書することができる。	

第4学年	○いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ○進んで学校図書館を利用する態度を養い、多様な資料や情報を集めて活用できるようにする。
今年度の成果目標 ○自分の興味のある本だけでなく、様々な種類の本についても読書することができる。 ○事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ○学校図書館オリエンテーションを通して、本などの種類や配置、探し方について理解する。また、必要な本などを選んで読書することができる。	達成基準 ○各クラス月2回以上、読書や調べる学習などの授業を学校図書館で行う。 ○読書カードを活用し、読書月目標200ページを児童の70%以上達成 ○支援員と連携し、学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
第5学年	○適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広げようとする態度を育てる。 ○進んで学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を集めて、適切に活用できるようにする。
今年度の成果目標 ○興味のある事柄について、適切な本や新聞などを選び、読書することができる。 ○複数の本や新聞などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ○学校図書館オリエンテーションを通して、本などの種類や配置、探し方について理解する。また、必要な本などを選んで読書することができる。	達成基準 ○各クラス月1回以上、読書や調べる学習などの授業を学校図書館で行う。 ○読書カードを活用し、読書月目標300ページを児童の70%以上達成 ○調べる学習コンクールに参加する児童が100%以上
第6学年	○適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広げようとする態度を育てる。 ○進んで学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を集めて、適切に活用できるようにする。
今年度の成果目標 ○興味のある事柄について、適切な本や新聞などを選び、読書することができる。 ○複数の本や新聞などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ○学校図書館オリエンテーションを通して、本などの種類や配置、探し方について理解する。また、必要な本などを選んで読書することができる。	達成基準 ○各クラス月1回以上、読書や調べる学習などの授業を学校図書館で行う。 ○読書カードを活用し、読書月目標400ページを児童の70%以上達成 ○調べる学習コンクールに参加する児童が100%以上

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- 児童情報の更新を4月中に行い、学校図書館の利用がスムーズにできるようにする。
- 新規購入図書の受け入れを適宜行い、児童、教職員のニーズに応じた蔵書構成となるようにする。また、区が示す基準に沿った蔵書率を保つ。
- 区が示す基準に沿った図書の廃棄・更新を計画的に行う。
- 予算が明らかになったら、新規購入図書の計画を2か月以内に行う。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- 支援員と連携し、4、5月に学校図書館オリエンテーションを実施し、児童が学校図書館の利活用方法について学べるようにする。
- 学校図書館を使った読書活動、調べる学習、授業に必要な資料の収集を支援員と連携しながら行う。
- 支援員の勤務日は、学校図書館を開館し、中休み、昼休みだけでなく、放課後など可能な限り児童の利活用を促す。

【その他】

- 一人2冊以上の貸し出しを可能とし、長期休業期間中には、通常以上の貸し出しを可能とする。